

『決意集会』による新たなスタート

3月8日(水)晴天の中、3年生106名が瑞浪北中学校を巣立っていきました。実に堂々として、晴れがましい姿であったことが印象に残りました。何より、一人も欠けることなく、全員が参加できたことが一番喜ばしいことでした。それには、仲間・先生との強い絆があり、更にはご家庭の協力があったからこそです。ありがとうございました。

そして、3年生が卒業した、翌9日の1時間目、2年生級長会が中心となり、『決意集会』が開かれました。その内容が以下の通りです。

- ◇卒業式答辞の映像を見る
- ◇3年主任より
- ◇2年級長会より 3年生の答辞を受けて、新3年生に向けての学年としての決意を語る
- ◇決意活動の提案 『決意の桜大作戦』

学校によっては、『スタート集会』・『出発集会』等と称され、3年生が卒業式を終えて巣立った翌日、1・2年生が一堂に会して、これからの決意を新たにす目的で行われる会です。

初めて北中の『決意集会』に参加して、工夫されていると感じたところ、素晴らしいと思ったところが幾つかありました。

◎卒業式に出席できた下級生は、2年生の送辞を述べた1名のみで、他の生徒たちは卒業式の内容・雰囲気がわかりません。

そこで、**卒業式の中での答辞の映像を流し、卒業生の想いや後輩へのメッセージ等を受け取る場を設けたこと**。当然のことながら、1・2年生全員、卒業式会場に同席し、生のメッセージを受け取るのがベストですが、映像からでもその場の雰囲気や卒業生の想いは伝わります。

◎**卒業生からのメッセージを受け取った2年生級長会が、これからの決意を語り、1・2年生だけの歩み出しとして、具体的な活動が提案されたこと**。

1・2年生それぞれに今年度の締め括りに向けた取組が行われている最中、新たに全校的な取組を行っていくことは煩雑になることが明らかです。

ここで考えられた提案。

それは、一人一人が1日の目標を決めて、その目標を達成できるように努力していくという内容です。個人が目標を立て、日々大切にしていくことは大切にしたいことであり、そのことを全校的な活動として位置付けることで負担なく取り組めます。

また、一人一人の頑張る内容は違うのが当たり前です。個人が目標・計画を立てて、努力を重ねていき、成果につなげていくこと、その個人の頑張りが全校にも影響を与えることとなります。



【1・2年生が一堂に会した決意集会】